

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	直腸および結腸切除術における双孔式ストーマ早期合併症の検討		
2. 対象患者	当科で予防的回腸ストーマ造設を伴う直腸および結腸切除術を施行された患者さん		
3. 対象となる期間	2015年12月1日 ~ 2018年11月30日		
4. 実施診療科等	弘前大学消化器外科		
5. 研究責任者	氏名	三浦 卓也	所属 消化器外科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	直腸および結腸切除術における予防的回腸ストーマは、吻合部腸管の安静を保ち、縫合不全のリスクを回避するうえで有用です。しかし、ストーマに関連する合併症もしばしば経験され、ストーマからの排泄過多により脱水や電解質異常を引き起こすハイアウトプットストーマ(HOS)や腹壁貫通部での腸閉塞と定義されるアウトレットオブストラクションの病態は明らかになっていません。		
8. 研究の目的	ストーマ早期合併症を引き起こす原因を明らかにし、合併症を軽減する為の対策を見出すことが目的です。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	診療録、血液画像検査を利用し、現病歴、既往歴、年齢、性別、身長、体重などの臨床所見、CTおよびMRI画像所見、術式、合併症などの手術関連情報を利用し、統計学的手法を用いて関連性を見出すことで、原因を明らかにします。		
10. 個人情報の保護	患者さん個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。拒否の申し出があった場合は、研究対象から除外し、データを削除致します。ただし、既に匿名化のうえ解析済みの場合や、研究結果公表済みの場合は、データを修正することは出来ませんのでご了承願います。		
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では、(株)ヤクルト本社、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、大鵬薬品工業(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。本研究の利益相反状態については、弘前大学大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。		
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科消化器外科学講座 三浦 卓也		
	電話	0172-39-5079	FAX 0172-39-5080